

韓国語学習×ノート術

単語を効率よく定着させるための
ノート術って??



《始めに》

目的にあった勉強をしよう！！



《はじめに》 目的にあった勉強とは？（韓国語の勉強には何が必要？）

勉強は単なる達成のための過程であり、
勉強をすることが皆さんの目的ではないことを忘れないでください。

それでも勉強方法も戦略的に考え工夫していくことは
非常に大切です。

今回のテキストでは、勉強法という視点から、
すぐに皆さんも毎日の勉強に取り入れていただだけそうな内容を
集めましたので、ぜひ使えろと思えるものがあれば、
取り入れて行ってみてください。

ノート作りや計画も語学を習得していく上で、
大切なポイントになっていくので、今回のテキストでも
お話ししていきますが、

ノート作りや計画を立てることが、
勉強のメインになってしまつては本末転倒になってしまうので、
戦略的に勉強を進めていくための一つの手段、戦略であることを
忘れないように読み進めてください★

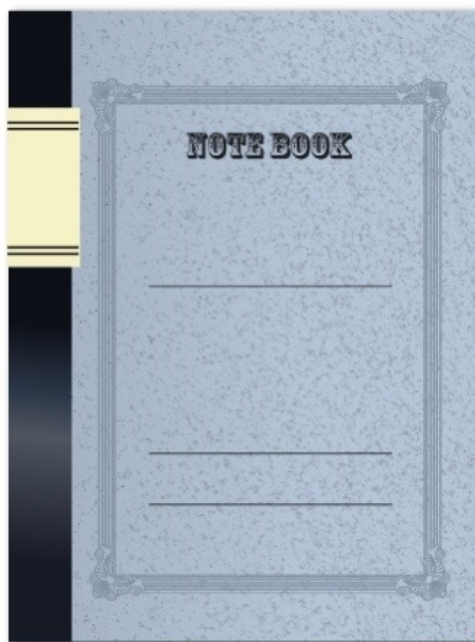
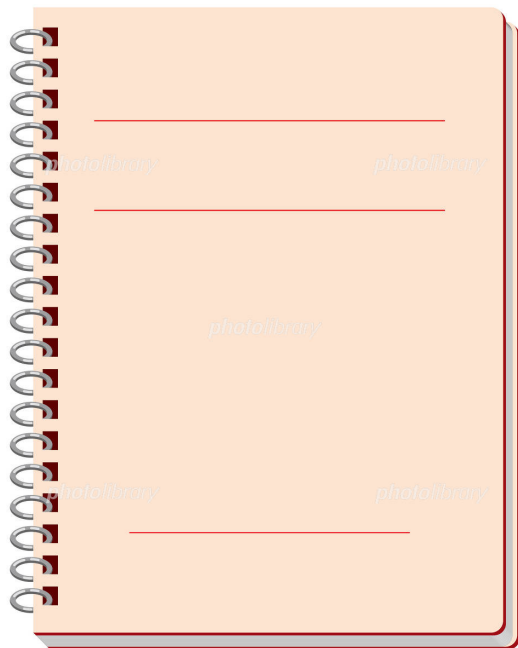
ノート作りの工夫



ここからは、「まとめノートのやり方・ノートの作り方」というテーマでお話ししていきますが、

まずはポイントについてみていく前に、
「そもそもなぜノート作りをするのか？」

ノート作りのメリットとデメリットから見ていきましょう！！



まず、
ノートを作る目的、そしてメリットは主に3つあります。

★印象に残すため（色やイメージなどを印象的にすることによって。）

★「復習」を効率よく進めれるようにするため

自分だけの苦手を集めておいて、自分だけの知識の宝庫とできるようにする。
何度も見返すこともできる。自分用にアレンジすることにより、わかりにくかった部分なども復習の際にはスッと頭に入るようにしておくため。

★書き出してみるにより、頭の中の知識が整理されて、深い理解につながる。

逆にデメリットももちろん存在しています。

★時間がかかる

★語学の学習には役立たないノート作り

★見た目にこだわりすぎて、内容が頭に入ってこなかったり、ノート作り自体が勉強の目的になってしまう点。

★ただ写しているだけで満足して、勉強した気になってしまう点。



語学学習においてはノート作りをすることで、特に次の2つのメリットが生まれます。

- ①ノートは「自分だけの知識の宝庫」になる
- ②「復習」に役立つノート作りを意識

①ノートは「自分だけの知識の宝庫」になる

実は私は学生時代から元々、
あまりノートを作ったりするのが好きなタイプではありませんでした。

しかし、語学の勉強はなんといっても長期戦。

さらには必ず必要な勉強でないこともあり、
いかにモチベーションを保って継続していけるか
というところも重要なポイントになってくるのです。

またここまでのお話でも何度もお伝えしてきていますが、
語学の学習においては「復習」「反復学習」が非常に大事な要素になってきます。

語学の勉強においては、
ノート作りも使い方によってはとても有益になってきます。

ただし、使い方を間違えて、
勉強のメインが頭に入れていくことよりも、
「ノート作り」になってしまっては意味がありません。

語学の勉強において「ノート作り」は、

- ・視覚的にも印象に残りやすくするためのツール
- ・効率よく復習に時間を使うためのツール
- ・モチベーションを維持していくためのツール

として活用していきます。

つまりノート作りをすることで《自分だけの知識の宝庫》を作っていくイメージです💡

「ノート作り」が勉強のメインになって、学んだ内容が入ってこないことのないように、うまく取り入れて行ってください。

この後にノート作りについてのお話も入れていきますが、ノートを作る時にも一つ一つ意味のある勉強であることが大切です。

よく伸びない人のノートを見ていると、

- ・ノート作り自体が目的になってしまっている
- ・ただ同じ単語を何度も書き並べていたり、意味のない工程が多い
- ・（前項の続きではありますが、）
- ・教科書をそのまま写しただけのような、自分でまとめた意味がなくなってしまうノート
- ・復習がしにくいノート（後から見返した時にすぐに場所を思い出せないようなノート）

このようなパターンがとても多いです。

韓国語を小学生の漢字の練習帳のように書き並べていても、
韓国語は伸びていきません。

漢字練習は「何度も書き綴ることによって漢字を綺麗にする」という
目的の上でああいった勉強法を取っていますよね！

みなさんが今取り組もうとしている勉強は「語学の勉強」なんです。
ただ書き並べているだけでは、時間の無駄であることも理解していただけたらと思います。

「語学学習」には「語学学習にあった勉強法」があります。

それを忘れないように勉強していきましょう！！

②「復習」に役立つノート作りを意識

語学学習の一番大事な習慣は**復習**です。

自分が復習の際にノートを見返した時、ひと目で内容がわかりやすくまとめられているノートにしておくことは非常に重要です。

ここでもう一つやって欲しくないノート作りは、教科書や参考書などをそのままノートにまとめていき、カラーペンなどを闇雲に使って綺麗にまとめることだけに意識が向いてしまうことです。

これは語学学習だけに限らず、時間を非常に無駄に使った勉強法と言えます。

もう一度書いておきますが、みなさんが語学の勉強をする際にノート作りが必要になるいちばんの目的は、**一度学んだことや理解したことを忘れないように、「自分だけの知識の保管庫を作っておく」ということです。**

教科書の内容をそのまま移し替えるだけであれば、
教科書を見たり、コピー機でコピーする方が断然効率がいいです。

自分が苦手な知識、
自分が覚えられない単語
自分が忘れず覚えておきたいポイント

などなど、自分が学んだ内容のなかで気づいたことや忘れてたくないもの、
ポイントをわかりやすく書き残しておくことが重要なのです。

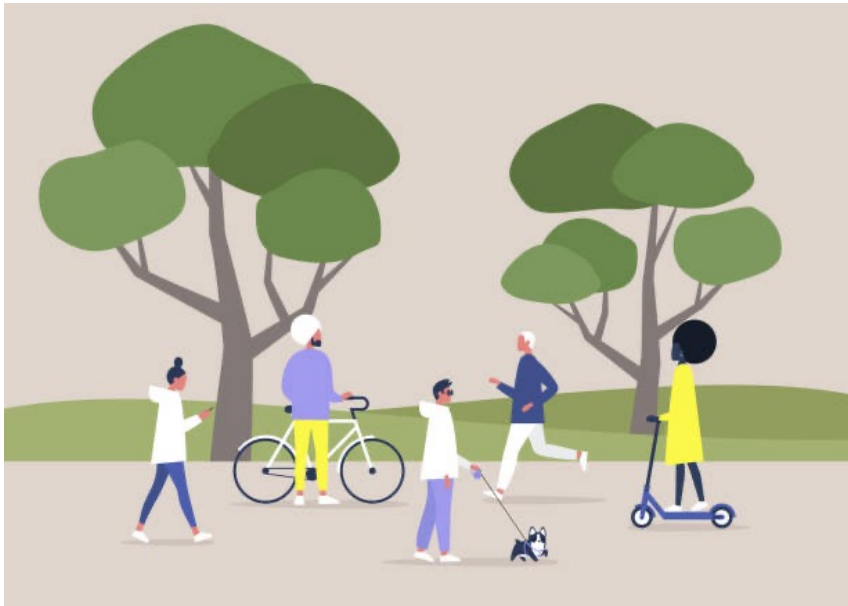
綺麗なノートにしておくことは、モチベーションを保つため、
印象にこのるようになるためにもとても良いことですが、
そこにはばかり意識が向きすぎることの無いようにだけ、注意しておきたいです！！



ここからはノート作りのメリットはうまくいかしながら、
間違ったノート作りをしないように、
ポイントを詳しく見ていきましょう！！

みなさんも正しいノート作りを通して、
楽しく効率よく勉強を進めるためのツールとして
しっかり活用していけるように見ていきましょう！

本テキストでは文法・単語・ネイティブに近づくための
フレーズの勉強などなど各項目ごとに
別々に分けて解説をしています。



早速ノート作りのポイントを見ていくのですが、
今回はノートの参考例なども出しながら解説していきます。

単語と文法それぞれでまとめるときに
注意しておきたいことやポイントなどもありますので、

韓国語の勉強のノート作り全体に関して言えるポイントを
いくつか見た後に、

単語、文法それぞれのノートまとめのポイントを見
ていきましょう！

全部のノート作りに共通するポイント

★ノートは「自分だけの知識の宝庫」になる

自分が「このノートをなくしたら大事な知識がたくさんなくなっちゃう！！」
「絶対手放せない！！」と思えるような自分だけの知識の保管庫となるような
ノート作りを心がけていきましょう！！

★まとめる内容にルールを作る必要はない。

他の人と一緒になくてもOK。
主観的に必要だ、使ってみたい、ポイントになりそうと感じた点を
感覚のまままとめていけばOK！！

★綺麗に書くことばかりにとらわれない。

自分が見やすいノートであれば、
綺麗でも汚くても全く問題ありません！

逆に、綺麗に書くことばかりに意識が向いている状態は
非常によくないです。

ノートを作っている目的を忘れないようにしましょう！！

ノート作り自体が勉強の目的にならないように、
ノート作りをしている間も常に、書き進めながら、
「書き出す内容を理解していきながら、頭の中を整理するイメージで
進められるようにしていきましょう！」

★教科書の内容をそのまま写す勉強はしない！！

移す必要のない部分まで移さない。

教科書にある文や内容を、ルールなどをそのまま写しては全く意味がありません。
ノート作りをするときには、写しながら、頭の中を整理し、必要な部分を書き出しておくことが大切になります。

教科書にある内容を1から10まで全て写すくらいなら教科書に書き込んだ方が早いですし、
教科書をコピーした方が早いです。

ノートにまとめるメリットを活かすためには

- ・ノートに書きながら頭の中を整理
- ・頭の中を整理しながら自分の勉強に必要な内容だけをピックアップし、自分が復習するときに理解しやすいような文で書き起こしておく。

写真やコピーにもって持ってこれる部分などはあえて自分で写さず、写真などを持ってきて貼るようにする。

★書き出さなくても思い出せる情報については、
あえて記載しなくて良い。

前の部分とも共通する内容ですが、
必要な部分でもコピーでいいものはコピーするのと同様に、

コピーや書き写し、どちらもしなくても、
・もう自分の知識として頭に入っているもの
・あえて書き出さなくても思い出せる情報

などは書き出す必要はありません。

自分なりに常に必要な情報と不必要な情報を取捨選択しながら、
日強な情報だけでノートを埋めるようにしましょう！！

(教室のレポート課題に関しはみなさんが理解できるように、
他人に教える気持ちで書いて行ってくださいね！)

★復習の時などに、後からノートに書き足しもできるように、ノートの余白は広めに取っておく。

余白は広くとって、あとから追加メモもできるようにしておきましょう！！

まとめたノートは反復学習で基本的には何度も見返していくノートになるので、余白をたっぷり残しておくことで、追加で書き込みをする際にも便利ですし、ノートが見やすくもなりますので、

ノートの余白は意識して広めにとるようにしておきましょう！！

★付箋やマーカーなどを使って、自分で見返した時にわかりやすいノートにする。

うまく付箋やマーカーなどを使い、印象に残るノート作りに。
絵の得意な人は簡単にイラストなどを交えながらやってもGOOD。
絵や初心は印象に残りやすい。

★間違っただけのものも消さない。

その他、簡単にできるノート術としては、
どの問題集の何番を解いたかわかるように書き留めておく
消しゴムは使わず、間違えた過程も必ず残す
余白を意識的に多く残しておく
といったものがあります。

ノートは保存目的があるので、教科書のどのページをまとめたものなのか一目で分かるようにしておきたいですし、間違いをはっきり残しておくことで、
できなかった原因を強く認識できるわけです。

③ 単語のノート作りの工夫

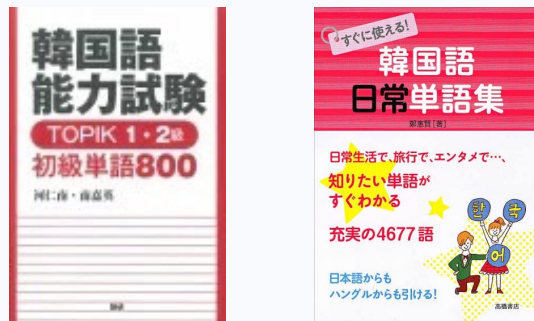
単語の勉強で使っていくのは主に2つですね！

- ・ 市販の単語帳
- ・ 自分作成の単語帳

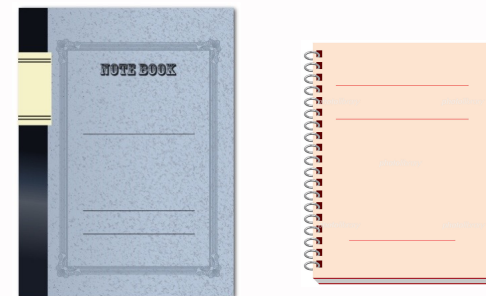
単語の勉強のところでもお伝えしていますが、
単語の勉強においても自分自身の単語帳も一冊使っていただくようにお勧めしています。

こちらは自分にさえわかればいいので、
自由に自分のルールでまとめていっていただければ大丈夫ですが、
これから説明していくポイントもぜひ参考にしながら、単語の勉強も進めていってください。

市販の単語帳



自分だけの単語ノート



単語のノートまとめのポイント一覧

★ポイントをなるべく見開き 1 ページなどに
見やすくまとめておくと復習が断然楽になる！

★教科書や調べたサイトに載っていることをまとめておくことも大切だが、
薄さなくてもわかりやすい部分などはコピーして、
あくまでも自分が気づいたことや、勉強した内容、ポイントとなる部分をよりわかりやすく
まとめるためのノートにする。

★書き出さなくても思い出せる情報については、
あえて記載しなくて良い。

★活用の変化がややこしいものは、
活用まで書き出しておく、いざ会話で使うのにも使いやすくなる。

★活用などもなるべく音で覚えていけるように、
単語の勉強でも例文はたくさん書き出して、読み返すように意識！

形の似た単語や、意味の似ている単語、対義語なども思いっく範囲で同じページに残しておく、頭を整理しやすくなる。

付箋やファイルを使ったり、色使いでモチベーション維持&視覚的効果

日本語から直訳できない部分などはポイントとしてまとめておきたい。

単語に関わって自分が抑えておきたいポイントなどもしっかりメモしておくこと！！

目的は「自分のための知識の保管庫」作り！
自分が見やすいノートであれば、綺麗でも汚くても全く問題ありません！！

【놓다 / 두다】置く

【두다】… 片づける、意識的に直しておく、しまっておくとニュアンスが含まれる。保管する場合や抽象的な内容にも 두다가 多く使われる。

【놓다】… 臨時的にとりあえず置いたり、机の上に置いたりする場合で、「保管しておく」ようなニュアンスは少ない。

※「置いておく」は 놓아 두다 を使う。
※업무에 두다 (念頭に置く) 거리를 두다 (距離を置く) 시간을 두다 (時間を置く) など抽象的な内容で使う場合、놓다 は使えないことも多い。

《単語に関する韓国語の重要表現》

지갑을 잊어버렸어!!
지갑을 잊고 와버렸어!!
⇒ **こういった直訳できない!!**

家に忘れてきたときなどの「忘れ物」の場合は、「두다 / 놓다」(置く)を使って、

집에 지갑을 두고 / 놓고 왔어.
(家に財布を置いてきた。)
と言えばOK。

他の場所も
호텔 방에 놓고 온 물건이 있어서. ya
카페에 휴대폰을 두고 왔어. などとして使える!

「忘れる」の訳し方には注意

① 記憶を失った
→ 목적어를 잊어버렸어요 X
② 物事をやっつけ忘れてしまった
→ 목적어는 잊어버렸어요 O
③ 物事をやっつけ忘れてしまった
→ 목적어를 잊어버렸어요 O
④ 物事をやっつけ忘れてしまった
→ 목적어를 잊어버렸어요 X
⑤ 物事をやっつけ忘れてしまった
→ 목적어를 잊어버렸어요 O

분실물은「紛失物」という意味での「忘れ物」を指す。

《形の似ている単語》

놓다 → 넣다

놓아(略は놔)
놓았어(略は놨어)
놓겠어
놓고 있어
놓아 주세요(/놔주세요)
놓자
놓으면

넣어
넣었어
넣겠어
넣고 있어
넣어주세요
넣자
넣으면

単語の形が似ていたり、するものは一緒にまとめておくと復習の時に勉強になりやすい

活用の変化がややこしいものは、活用まで書き出しておくと、いざ会話で使うのにも使いやすくなる。

活用などもなるべく音で覚えていけるように、例文はたくさん書き出して、読み返すように意識。

「復習」のためのノート作りを意識!

教科書をそのまま写してしまっ
てはいけない
⇒ あえて手で移す必要がない部分
などはコピーする

《単語ノートにまとめたい内容・ポイントとして参考にしてほしい内容》

類義語対義語

形の似ている単語

難しい活用

例文は使えそうなものをたくさん書き出しておく

よく使いそうな関連の熟語（**눈치**を使った表現などたくさん関連する言葉がある場合はセットでまとめおくと良い。）

日本語から直訳できないもの

日本語では使わないようなネイティブ表現

큰일 났다と **힘들다**のように日本語にすると同じ言葉になるので間違えやすいもの

日本人が間違えやすいポイント

添削で以前も間違ったポイント

自分がミスしやすいポイント

などなど。自分の苦手や学びたい内容に合わせて、
関連知識の量も調節しながら、まとめおきたいもの、復習で見返したいもの、
一緒のページに残しておきたいものは、一緒にまとめおきます。
ここにはないものも自分が必要に感じるものは、しまとめていきましょうね！！

**★ポイントをなるべく見開き 1 ページなどに見やすくまとめておくと
復習が断然楽になる！**

前のページにポイントを羅列してあげていますが、
全ページに挙げたようなポイントをなるべく見開き 1 ページなどに見やすくまとめておくと復習が断然楽になります。

**1 ページにその単語に関するポイントがまとまっているので、
会話で実際に使う時にも、必要な知識や注意したいポイントというのが
自然に頭にイメージとして浮かんできて、
間違いやすい使い方などにも注意しながら会話もできるようになります。**

ノートをイメージとして覚えることも重要というお話をしましたが、
見開き 1 ページに情報を整理しておくことで、
頭の中でもノートにまとめた流れで情報が整理できるため、
いざアウトプットする時に効率よく情報が頭から引き出しやすくなります。

★教科書や調べたサイトに載っていることをまとめておくことも大切だが、薄さなくてもわかりやすい部分などはコピーして、あくまでも自分が気づいたことや、勉強した内容、ポイントとなる部分をよりわかりやすくまとめるためのノートにする。

こちらは「必要のない部分は写さずコピーする」などのお話にも共通してきますが、

みなさんがノートまとめをする目的は、「自分だけの情報庫」を作っておくことであり、インターネットの情報などを単に写し変える目的ではありません。

教科書やインターネットに載っている文をそのまま移し替えるのではなく、自分なりに解釈しやすい文に書き直したり、より端的にまとめるなどして、自分が見返した時に、必要な情報だけがパッと頭に入ってくるようなノート作りをすることが大切です！

★書き出さなくても思い出せる情報については、
あえて記載しなくて良い。

前の部分とも共通する内容ですが、
必要な部分でもコピーでいいものはコピーするのと同様に、

コピーや書き写し、どちらもしなくても、

- ・もう自分の知識として頭に入っているもの
- ・あえて書き出さなくても思い出せる情報

などは書き出す必要はありません。

自分なりに常に必要な情報と不必要な情報を取捨選択しながら、
日強な情報だけでノートを埋めるようにしましょう！！

(教室のレポート課題に関してはみなさんが理解できるように、
他人に教える気持ちで書いて行ってくださいね！)

★活用の変化がややこしいものは、
活用まで書き出しておく、いざ会話で使うのにも使いやすくなる。

「動詞などの活用が苦手です。」
「活用形は全て書き出してまとめた方がいいですか？」というお悩み相談もよく受けますが、

こちらに関しては、
勉強を続けていって、たくさん表現や例文に触れていくと
慣れてくる部分ではあるので、
活用形に特化して全て書き出すというよりは、例文など見えそうなものを見つから書き出すようにして、活用形にも慣れていくというイメージで進めていけばいいですね！

特に覚えられない活用や形の変化がややこしく感じるような活用などについては書き出しておいてもいいかと思います。

へヨ体の作り方のテキストにてルールもまとめてありますが、
ルールを覚えるというよりは、
わからなくなった場合の参考程度と考え、基本は例文などをたくさんみて活用慣れていく方が、
後々の会話力につながりやすくなります。

同様に、語尾表現についても、
例文などをおして、
「これ使えそう！」「覚えておこう！」というものがあれば、
書き残しておければ大丈夫です。

一気に全て覚えようとしなくても大丈夫ですし、
気になるものから覚えていけば大丈夫ですので、

大きく負担を感じないように、
会話で使えそうな表現を探すという楽しさを忘れず、
勉強していけるといいですね！！

★活用などもなるべく音で覚えていけるように、
単語の勉強でも例文はたくさん書き出して、読み返すように意識！

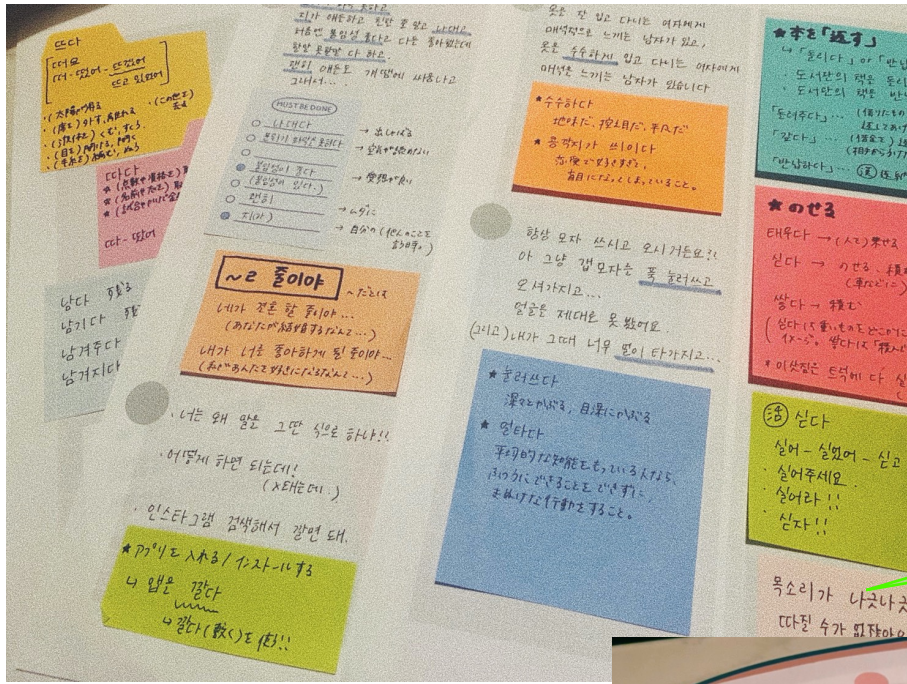
単語の勉強で以外と無視されがちなのが、例文ですが、
例文を使って使い方などを把握する工程は非常に重要になります。

単語を訳だけで覚えてしまって、
実際使おうとすると全然違った意味合いだった、ニュアンスが全く違うものだったなど
など、語学には間違え方としてあるあるですよ。

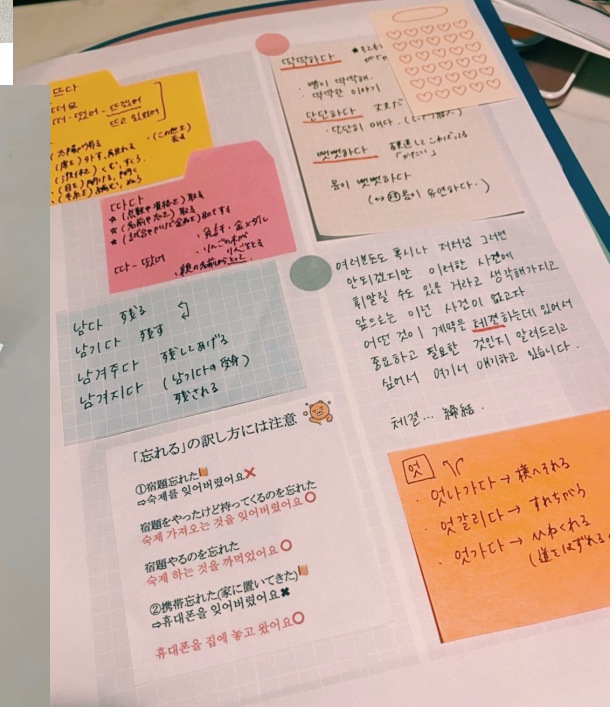
例文を見て単語も勉強していると、
例文から使う場面なども想像しやすくなるため、こうした間違いにも
気付きやすくなりますし、単語のニュアンスを掴みやすくなります。

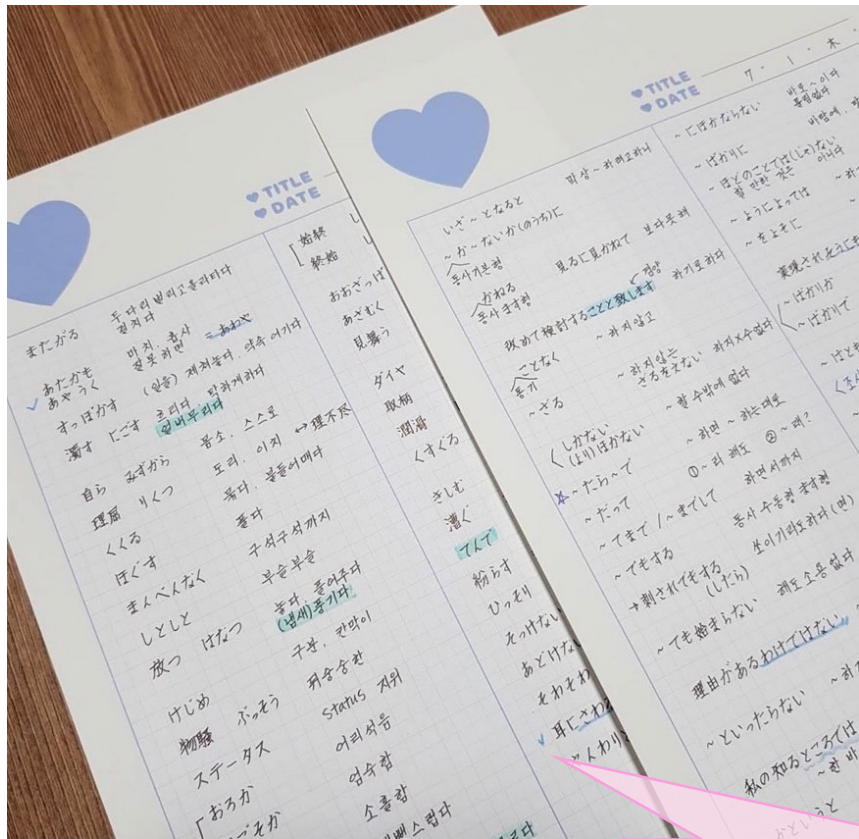
形容詞なども自分が想像している感情や意味合いと合っているのか
なども例文でチェックしておくといいですね。

市販の単語帳を選ぶ時にも、なるべく、例文があるものを選ぶといいですね。
たくさんはなくてもいいので、例文があるものを選ぶようにしましょう。



簡単にまとめられる単語や書き出しておく情報が
 そこまで多くない単語などに関しては、
 付箋やマーカーなどを使って一枚にまとめておいても
 良いですね！





訳だけで大丈夫な単語に関しては、
羅列して書き出すだけでも
もちろん大丈夫です★
無理にまとめる内容を作り出す必要
まではないので、この辺りは臨機応
変な対応をしていきましょう！

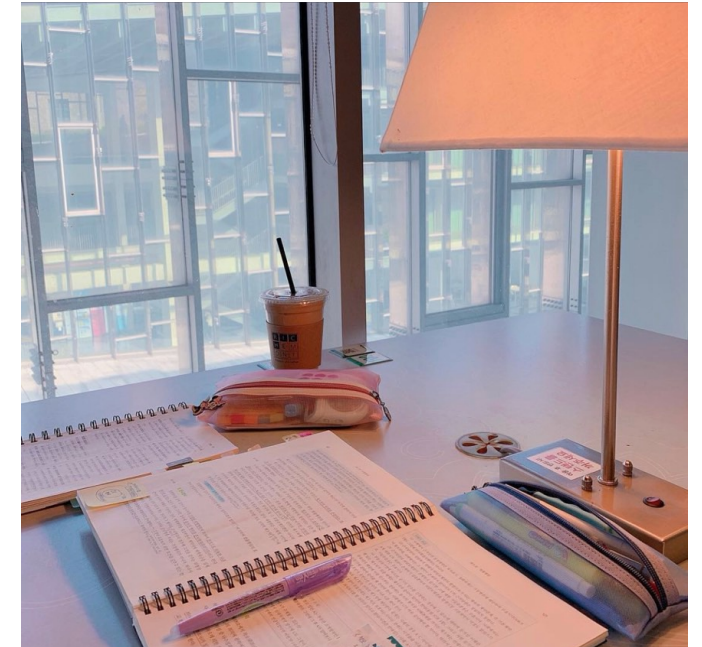
④文法の勉強のノートの工夫

文法のノートとしては、

- ・皆さんがテキスト学習で文法の勉強をする際にまとめて行ってもらおうノート
- ・動画学習でのポイントをまとめるノート

などなど文法を中心にまとめていくことも多いかなと思います。

ここからは文法を中心にノートをまとめる際の、
まとめ方のコツや、
文法の勉強のコツについてもみていきましょう！！



文法のノートまとめのポイント一覧

★例文はたくさん使って勉強。

★教科書の内容をそのまま写す勉強はしない！！

★細かいルールや文法ばかりをまとめるのではなく、似た表現との使いわけや間違いやすいポイントなどを自分なりに考えて残しておく。

★文法の勉強はルールよりも実際の使われ方やニュアンスに深く目を向ける勉強法にしてい

く。

★例外なども間違いやすいポイントなので、暗記すべき内容として覚えておく役立つことが多い。

★まとめる文法が簡単なもの場合や、まとめる内容が多くない場合、知っている文法で追加でポイントだけ書いておきたい場合などは、大きめの付箋を使ったり、簡単にまとめておいてもOK。



では細かく見てみましょう！！

★教科書の内容をそのまま写す勉強はしない！！

移す必要のない部分まで移さない！！

細かい文法やルールなどは、
自分がわからなくなりそうな部分や、
ポイントとなる部分、反復学習の時に思い出すために最低限必要な範囲で
まとめていきましょう。

細かいルールまで必要な場合は、インターネットの資料などを
コピーすると効率がいいですね。

本当に自分で写す必要があるものなのかどうか、しっかり考えながら
必要な勉強を選んでできるようにしていきましょう！！

教科書にある文や内容を、ルールなどをそのまま写しては全く意味がありません。
ノート作りをするときには、写しながら、頭の中を整理し、必要な部分を書き出しておくこと
が大切になります。

教科書にある内容を丸写しするくらいなら教科書に書き込んだ方がはやいですし、
教科書をコピーしたりモできますよね！

ノートにまとめるメリットを活かすためには

- ・頭の中を整理しながら自分の勉強に必要な内容だけをピックアップし、自分が復習するときに理解しやすいような文で書き起こしておく。
- ・写真やコピーにもて持ってこれる部分などはあえて自分で写さず、写真などを持ってきて貼るようにする。

これらのポイントを守り、

ノートに書きながら頭の中を整理するイメージで取り組んでいくことが大切です
ね！

★例文はたくさん使って勉強。

ひとつ前の内容では、
本当に自分で写す必要があるものなのかどうかを考えながら、
細かい文法のルールなどをどうしてもまとめておきたい場合は、
コピーしたり、時間を有益に使いましょうというお話をさせていただきましたが、

逆に例文に関しては自分の手で、たくさん書き写すことを
意識しておくといいですね！！

細かい文法のルールなどは、インターネットのサイトなどに
わかりやすく表にまとまっているものなども多いので、
コピーした方が見やすい場合も多く、
あえて自分で手で移していくメリットがありません。

しかし例やポイントに関しては、
読み方や文の構成なども一文一文しっかりと理解しながら、
見て行っていただきたいので、手で書き写すととても勉強になります。

★細かいルールや文法ばかりをまとめるのではなく、似た表現との使いわけや間違えやすそうなポイントなどを自分なりに考えて残しておく。

前の2つの内容ともまたかなさる部分が多いですが、ルールは後からインターネットでも調べ直せるもの。

自分が何をまとめて残しておきたいのか、今日勉強で何を学んだのかをポイントにまとめて残しておくことが大切です。

極論を言ってしまうえば、文法のルールはノートに自分でまとめておかなくても後からもう一度インターネットで調べれば、同じ情報がちゃんと出てきます。

しかし勉強しながら得られた発見や気づき、ポイントはなかなか同じ情報に出会うのが難しかったりもします。

こうしたポイントや発見を中心にノートを作っていていただきたいなと思います。

★文法の勉強はルールよりも実際の使われ方やニュアンスに深く目を向ける勉強法にしていく。

先ほども「例文をたくさん使って勉強するように」という項目がありましたが、

文法に勉強では、

「ルールをまとめるよりも、たくさんの例文などを使って、実際の使われ方に目を向ける。」ことが大切です。

几帳面な方などに多いのが、ルールに必死になりすぎて、例外が出てきたらそこで止まってしまったり、例文を見てもルールに当てはまっているかばかりを考えるので、単なる間違い探しの勉強のようになって、自分がいざ使おうとする時に全く使えない方というのが、かなり多くいらっしゃいます。

几帳面な性格なのはとてもいいことなのですが、語学の勉強においては時に、その几帳面さが邪魔してなかなか伸びなくなってしまいます。

こういった方々は、
「例文を使えるようにしよう！」 「この例文使えるように覚えておこう！」
と自分が使う場面を想像する前に、

- ・ちゃんとルールに当てはまっているか
- ・どうして日本語と違うのか

などなどを考えてしまい、自分が使う場面を想定しながら勉強していないので、
結果的に楽天的に考えている人より、伸びが悪くなってきます。

「日本語ではこう言いますが、韓国語ではどうして言えないんですか？」
「日本語に直すと不自然ですが大丈夫なのでしょうか？」
といった質問をさせる方はだいたいこのパターンの方ですね！

韓国語は外国語ということを忘れないでくださいね。

「日本語とどうして違うのか」などを考えてしまうのは時間の無駄ですので、
韓国語を特定に日本語の表現に一对一で当てはめようとしたり、
無理に日本語にポジショニングさせようとしたりしないでください。

日本語と韓国語は別の国の言葉であり、文化も違うので、
一对一で当てはまる言葉が存在しているわけではないですし、
韓国語を必ず特定の日本語で置き換えられるわけではありません。
片方の国にしかない言葉もたくさんあります。

また語学は言葉ですので、ルールだけでは説明できない部分や時代とともに変わっていくものも多いです。

こう言ったルールだけでは解決できない内容に出会った時に、ルール信者であればあるほど、「どうして」ばかりがかさなってしまう、永遠に基礎から抜け出せなかった理します。

逆に、こう1った時に、「お！韓国語ではこんな風に言えるんだ！面白い！これが使えれば、ちょっとネイティブっぽいかも！」のようにある意味、楽天的に柔軟に捉えられる方は伸びもとてもはやくなります。

少し厳しく詳しくお伝えしてきましたが、これが原因で伸びない方は非常に多いので、頭の片隅で常に意識しておくようにしていただければと思います！

語学の文法を効率よく覚えるイメージとしては、
「ルールを暗記する⇒例文で確認する⇒ルールに則っているのかを探す」
のではなく、

「例文などをたくさん見て、聞いてみる
⇒こういう風に使うんだとなんとなくの感覚を掴む
⇒ルールを確認してみて、細かい時制の違いなどにも目を向ける
⇒また各時制の使い方なども例文で確認しながら自分でも使えるように意識して勉強する」

という流れが理想の流れです。

文法の勉強だからと言って、ルールから覚えればいいわけではないので、
例文など実際の使われ方という部分に1番の重きをおいて勉強を進めていきたいです。

★例外なども間違えやすいポイントなので、
暗記するべき内容として覚えておく役立つことが多い。

語学も文法としてルールは存在していますが、
なんせ言葉ですので、例外が非常に多く、
時とともに自然な言い方が変わっていったりもします。

文法のルールを一気に覚える必要はありませんが、
慣れてきた文法については、
後から、例外は暗記してほしいので、
一緒にノートにまとめておいて、「復習」や「例外後から暗記！」など
目印をつけておいて、復習しながら、例外に関しては覚えて行っていただきたいと思います。

手で写す必要のないところはコピーしたものを貼り付けて使う。

것 같다 「～と思う・～な気がする・～のようだ」

★分解して考えると、「것」は名詞なので、것 같다の前の形は連体形になる。
 것 같다의 ⇨ 連体形をしっかり作れることが大事!

- 는, ㄴ/은, ㄹ/을 것 같다
- 1) 機能 : ある動作や状況に対する推測や断定を避ける言い方
 - 2) 意味 : 「～ようだ、～そうだ、～みたいだ、～と思う」
 - 3) 使い方 : ①動詞+는(現在), ㄴ/은(過去), ㄹ/을(未来) 것 같다
 ②形容詞+ㄴ/은, ㄹ/을 것 같다
 ③存在詞(있다/없다)+는, 을 것 같다
 ④指定詞+인, 일 것 같다

나인 것 같아? 私だと思う?
 뭘 시켰을 것 같아요?
 何を頼んだと思いますか?(予想だから未来形)
 제가 뭐 먹을 것 같아요, 오늘?
 僕が今日、何を食べると思いますか?(未来のこの未来形)
 나도 본 것 같아! 私もみた気がする!
 좀 더 걸릴 것 같아. もう少しかかりそう。
 잘 어울리는 것 같아? 似合っていると思う?
 그거 아닌 것 같아.それは違うと思う。
 들어본 적 있는 것 같아요. 聞いたことあると思います。
 전에 한번 먹은 것 같은데? 前に1回食べたみたい。

使えそうな例文はたくさん書き出しておく。

《連体形の活用》

	動詞	形容詞	名詞
現在形	語幹+는	語幹+ㄴ/은	名詞+인
過去形	語幹+ㄴ/은	なし	なし
未来形	語幹+ㄹ/을	なし	なし

日本語では「おいしい料理」「忙しい時間」「待つ人」など、そのまま名詞の前に動詞や形容詞を形を変えず付けられる場合が多いが、韓国語では別の形になる連体形が存在する。日本語に惑わされず、名詞の前は連体形を意識!

있다/없다(存在詞)は特別で、品詞に関係なく는をつける覚える。

【現在】
 가다(行く)→가+는→가는
 먹다(食べる)→먹+는→먹는
 일하다(働く)→일하+는→일하는
 【過去】
 가다(行く)→가+ㄴ→간
 먹다(食べる)→먹+은→먹은
 일하다(働く)→일하+ㄴ→일한
 【未来】
 가다(行く)→가+ㄹ→갈
 먹다(食べる)→먹+을→먹을
 일하다(働く)→일하+ㄹ→일할

付箋やマーカーなどを使って、自分で見返した時にわかりやすいノートにする。

関連する文法なども知らないものが出てくれば一緒にまとめておく。

復習の時などに、後からノートに書き足しもできるように、ノートの余白は広めに取っておく。

細かいルールや文法ばかりをまとめるのではなく、似た表現との使いわけや間違いやすそうなポイントなどを自分なりに考えて残しておく。ルールは後からインターネットでも調べ直せるもの。自分が何をまとめて残しておきたいのか、今日の勉強で何を学んだのかをポイントにまとめて残しておく。

例外なども間違いやすいポイントなので、暗記するべき内容として覚えておく役立つことが多い★

【状態の継続~아 / ~어 있다】

日本語ではどちらも「~している」と表現されるが、韓国語では明確に現在進行形と使い分けが必要。
「~아 / 어 있다」は動作が終わり、その状態が続いている時。
「~고 있다」は動作が進行中で、動きがある状態。

- ①방탄소년단이 와있어
- ②방탄소년단이 오고 있어

①の場合、「来る」という動作が完了して、その状態が継続。
⇒防弾少年団は日本に到着して、滞在している状態。

②の場合、「来る」という動作が進行中
⇒防弾少年団はまだ日本には到着しておらず、移動中。
「向かってきている」状態を指す。

その動作が終わっていても「~고 있다」を使う例外もある。動詞自体が、継続の意味を含むようなものに多い！

- 「타다/乗る」: 버스 타고 있어
- 「입다/着る」: 원피스를 입고 있어
- 「신다/履く」: 하이힐을 신고 있어
- 「쓰다/かぶる」: 모자를 쓰고 있어 など。

意味の違いに注意！！

살고 있다 = 住んでいる、暮らしている
살아 있다 = 生きている

떨어지고 있다 = (今) 落ちている
떨어져 있다 = 落ちている = 落ちた状態である

앉고 있다 = (今) 座っている
앉아 있다 = (もう) 座っている

立っています。 서 있어요.
かかっています。 걸려 있어요.
置かれています。 놓여 있어요.
付いています。 붙어 있어요.

何と書いてありますか? 뭐라고 쓰여 있어요?

弟が家に来ています。 동생이 집에 와 있어요.

ノートに名前が書かれています。 노트에 이름이 쓰여 있어요.

机に本が置いてあるよ。 책상에 책이 놓여 있어.

玄関開いてるかな? 문이 열려 있나?

特に注意したいポイントなどは、大きな付箋などをつけてまとめておくと復習の時に目が行きやすく、便利。

文法の勉強は例文がメイン。例文を使ってニュアンスや実際の使われ方まで学んでいく！

助詞の使い分けなどの
間違いやすい部分も近い
ページで全てまとめておく
と復習がしやすく
なりますね！！

【助詞ポイント】

日本語では「～が」「～に」などの助詞を使う方が自然な場合に、
韓国語では「～を」の助詞を使う方が自然になる、
つまり直訳できない助詞の表現がある。
(例外として覚えておく！)

《1》「好き嫌い」など嗜好を表す単語の前
좋아하다 싫어하다 잘하다 못 하다など。

나는 방탄소년단을 좋아하다.(○)
나는 방탄소년단이 좋아하다.(×)

《2》「～に会います」
「～に会います」は、「～을/를 만나다」と表す。

친구를 만나다(○)
친구에 만나다(×)

《3》「～に乗る」
「～に乗る」は、「～을/를 타다」と表す。

지하철을 타다(○)
지하철에 타다(×)

《1》《4》添削で間違いやすい部分！
意識しておく！！

《4》行為や動作などの目的 + 가다

具体的な場所 + ~에 가다
目的(留学、ショッピング、旅行など) + ~을/를 가다

旅行やショッピングや留学や出張、仕事など、
場所に行くことが目的ではなく、行って何かをすることが
目的の場合に가다をつなげるときは、를(~を)を使う。

여행을 가다(○)
여행에 가다(×)

쇼핑을 가다(○)
쇼핑에 가다(×)

이미 끝났어と言えば、「すでに完結してしまった」
벌써 끝났어と言えば、「予想外に早く終わった」
이제 끝났어と言えば、「今終わった・今さっき終わった」
というニュアンスの違いが出る。

이제는「もう大丈夫」「もう心配ない」など、
これから先の未来を表す「もう」となる。間違わないように注意！

★まとめる文法が簡単なもの場合や、まとめる内容が多くない場合、知っている文法で追加でポイントだけ書いておきたい場合などは、大きめの付箋を使ったり、簡単にまとめておいてもOK。

- 길 잘하다 「～て良かった」

★「-기를 잘하다」の略。

★自分の行動や選択などに「間違えがなかった」「よくやった!」というイメージ。

오길 잘했어. (来てよかった。)

안 하길 잘했어. (やらなくてよかった。)

한국어를 배워두길 잘했다.

(韓国語を習っておいて良かった。)

間接引用文の語尾
間接的な引用の会話での略の形

다고 해요 → 대요

냐고 해요 → 내요

자고 해요 → 재요

라고 해요 → 래요

명사 + (이)라고 해요

→ 명사 + (이)래요

まとめる文法が簡単なもの場合や、まとめる内容が多くない場合、知っている文法で追加でポイントだけ書いておきたい場合などは、大きめの付箋を使ったり、簡単にまとめておいてもOK。

上手にまとめノートを利用しようーまとめー

まとめノートを効果的に利用することができれば、とても有用な勉強法の1つとなります。

しかし、ポイントを外したやり方をしてしまうと、単なる作業や時間の無駄となってしまいます。

「ノートまとめをこういった目的でしているか？」ということを確認しながらノート作りを進めていきましょう！

まとめノートを利用して効率の良い習得に向けて勉強しましょう。

目標を実現するためにももちろん努力は必要ですが、闇雲に勉強をするのではなく効率的に学習したほうが、モチベーションにもつながりますし、何よりも伸びが早くなっていきます。

講座のフォーマット記入の時のノート作りの注意点

課題におけるノート作りは基本的には学校のレポートなどと同じものと思っただきたいので、他の生徒のみなさんにわかりやすくポイントを教えてあげるイメージでわかりやすい内容でまとめて提出してください。

★みんなに教えられるようにポイントをわかりやすくまとめたノート作り。

★人目で動画のポイントや学んだ内容が見た人に入ってくるようなイメージで。

もちろん本来は自分にだけわかればいいのですが、ノート共有をすることで自分一人だけでは気づかなかった知識や情報共有をすることがこの課題の目的でもあるので、自分も他の人の勉強を見させてもらうのですから、自分自身も質の良いノートを提供できるように、意識して取り組んでみてください。

動画学習も一応フォーマットにまとめていただき、共有をしていただいておりますが、

課題以外の普段の勉強ノートも追加で共有していただければ、さらにポイントアップにもなりますので、普段の勉強ノートもどんどんまとめて提出してください。

こちらでチェックを入れて、共有できるものは共有後、ポイントをつけさせていただきます。

普段のテキスト学習や、フォーマットで共有するもの以外の動画学習など、自習の際のノートも、共有は自由とさせていただいておりますので、自分の好きなようにノートを作っていただいても大丈夫です。

付箋學習法





ノート作りの部分などでも、
視覚的にも見やすく、
印象に残りやすいノートにしていくために付箋も活用していただくと
おすすめしてきましたが、

最近は、いろいろな種類の付箋が、安く簡単に手に入るため、
それを使ってノートまとめをするのも有効です。

こちらでは、付箋の使い方のコツや、
上手な使い方についてももう少し詳しく掘り下げて見てみましょう！

【付箋ノートを作るメリット】

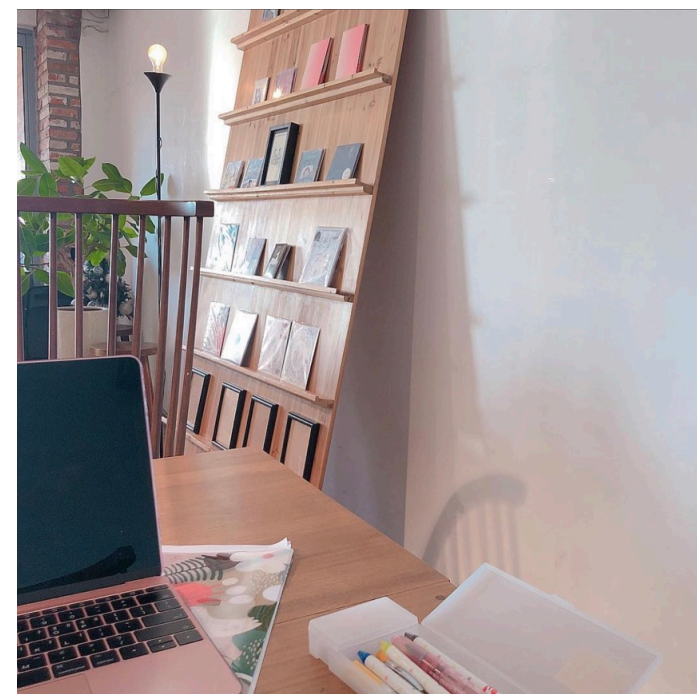
付箋ノートを作っておくことのメリットはいくつかありますが、

★情報を移動させながら勉強できる

★付箋を使うことにより、色や形、付箋の種類で情報を整理しやすくなる

★勉強意欲が湧きやすい

などのメリットがあります。



★情報を移動させながら勉強できる

→付箋を使うことにより、情報を移動させながら勉強していくことが可能になります。

具体的には、たとえば、覚えたものと、覚えていないものを、いちいち書き写さなくても、付箋を剥がしてつけてという作業をするだけで、分類して勉強することができるのです。

常に新しい知識が増えていく語学の勉強ですが、毎回何個も重たい単語を持ち歩いたりはできませんよね。

単語帳も付箋を使って、作っておくと、覚えたものから別のノートに移し替えて、常にまだ覚えていない単語だけが自分の単語ノートの中にある状態をつくっておけば、何冊も持ち歩く必要はなくなります。


また一度覚えたと思って、単語ノートから外してしまった付箋についても、覚えたものだけまとめてファイルなどに保管しておけば、また復習して忘れてしまっているものなどがあれば、再度単語ノートに付箋ごと移し替えるだけで、単語ノートに戻すことも可能になります。

このように付箋を使うことで、無駄な時間も減り、効率よく勉強が進められるようになります。

★付箋を使うことにより、色や形、付箋の種類で情報を整理しやすくなる。

また付箋にもいろいろな色や形、大きさのものが今はたくさん売られています。可愛いものを使ってモチベーションを上げるのもありですし、色や大きさに合わせて自分なりにルールをつくり、決まった使い方で続けていくことで、ノートを復習していく時にも、大事なポイントや何についてまとめているのかということについてもわかりやすくなり、復習もやりやすくなります。また、色などにより情報を整理しておくことで、記憶にも残りやすくなり、一石二鳥ですね！

★勉強意欲が湧きやすい

可愛い付箋なども多く売られているので、付箋を使って勉強していくと、比較的勉強への意欲も上がりやすくなります。また付箋を剥がす作業で手を動かしながら、覚えたかどうか確認していくことで、達成感も自然と出てきますし、集中力も上がりやすくなります！メリッ
トだらけの勉強法なので、ぜひうまく取り入れてみてください 

【付箋ノートの作り方】

付箋を単なる見出しとしてではなく、ここでは便利なメモ帳として使っていきます。

付箋の使い方も人により色々な使い方がありますが、主に、

①先にノートまとめをしておいて、そこに付箋を貼り足していく方式

②ノートには直接書き込まずに、
付箋だけに書いてどんどん貼っていく方式が主な活用法として挙げられます。

後者の良いところは、後で順番を並び替えたり、
ノート内のレイアウトを変えたりが自由にできる場所ですね。

それぞれをもう少し詳しく見てみましょう！！

①先にノートまとめをしておいて、そこに付箋を貼り足していく方式

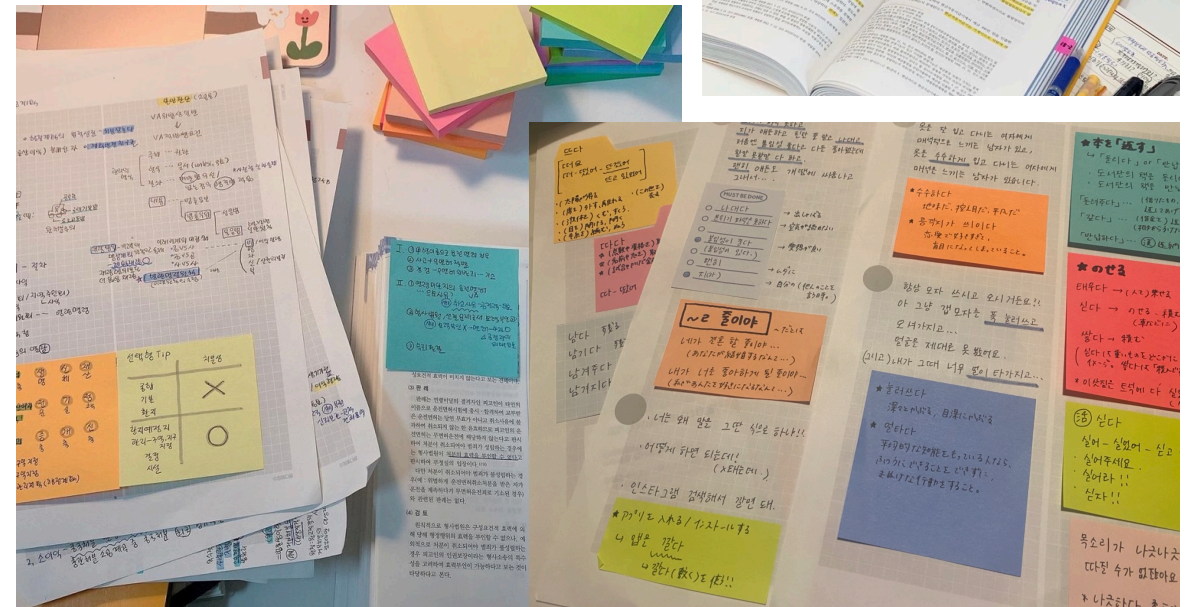
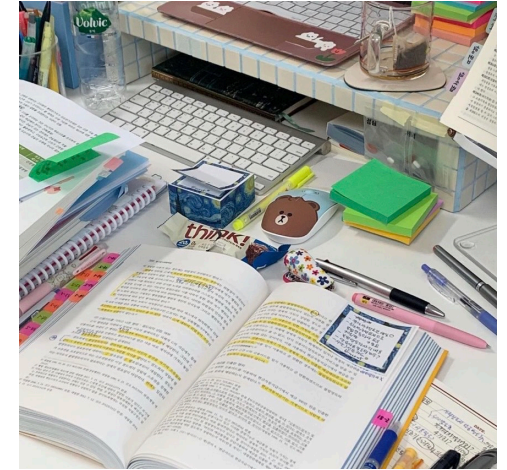
通常どおり、習ったことをノートに書いていくのですが、ポイントや暗記しなければならないことだけ、ふせんに書いて貼るようにします。

目立つようにするためですね！皆さんが一番よく使う付箋の使い方だと思います。

この場合は、派手な色のふせんや、変わった形のふせんが向いていますね。目を引きましますし、印象に残りやすくなりますよ。

ただペンの色を変えただけの場合よりも、見やすい上に目立ちますよね！

ただし、あまりふせんだらけにしてしまうと、逆に重要なポイントがわからなくなって使いづらい・見づらいノートになってしまうので、その点は注意が必要です。



**②ノートには直接書き込まずに、
付箋だけに書いてどんどん貼っていく方式が主な活用法として挙げられます。**

次は、授業内容をまとめるというよりは、
独学でテキストを見ながらノートを一からまとめたい！という場合に便利です。

こちらの良いところは、後で順番を並び替えたり、
ノート内のレイアウトを変えたりが自由にできる場所ですね！

この場合は、タイトルだけ書いたらあとは全てふせんを使います。

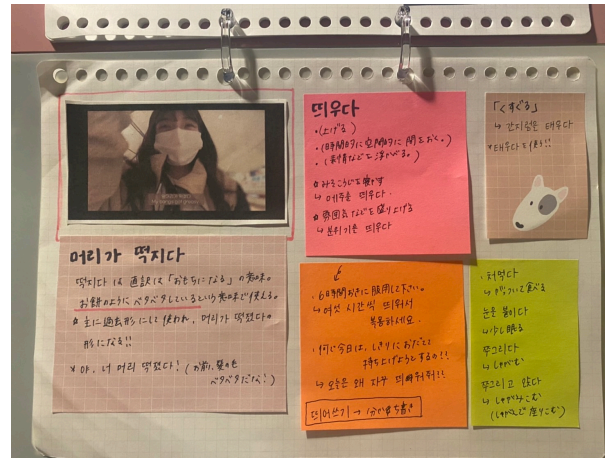
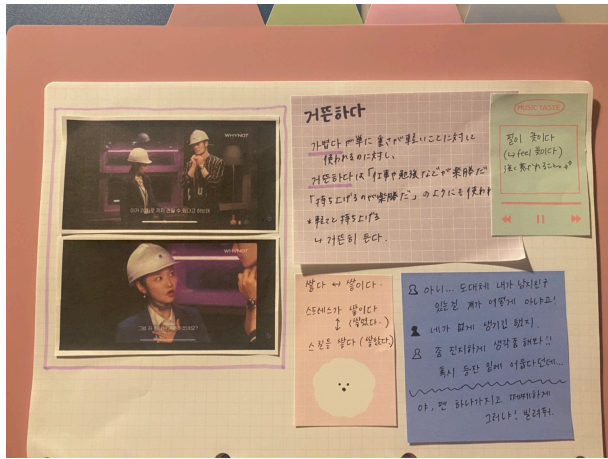
まとめたい内容を一つ一つふせんに書いていきます。

この段階では、まだふせんを貼る場所はあまり気にしなくても良いです。
書く内容が多いと思いますので、大き目のふせんがおすすめです。

目立たせたい部分だけ形の違うふせんにしてみたり、
ビビッドカラーのふせんを使ってみたいするとメリハリがついて、
いいかもしれませんね。

そして大体書き終わったら、
自分の分かりやすいなあと思う順番・レイアウトでノートに貼り直していきます。

▽ こんな感じ！



どこに何が書いてあったかを視覚的に覚えておくことは大切なことなので、
ここでしっかりと、覚えやすい・見やすい最適なレイアウトを考えましょう！

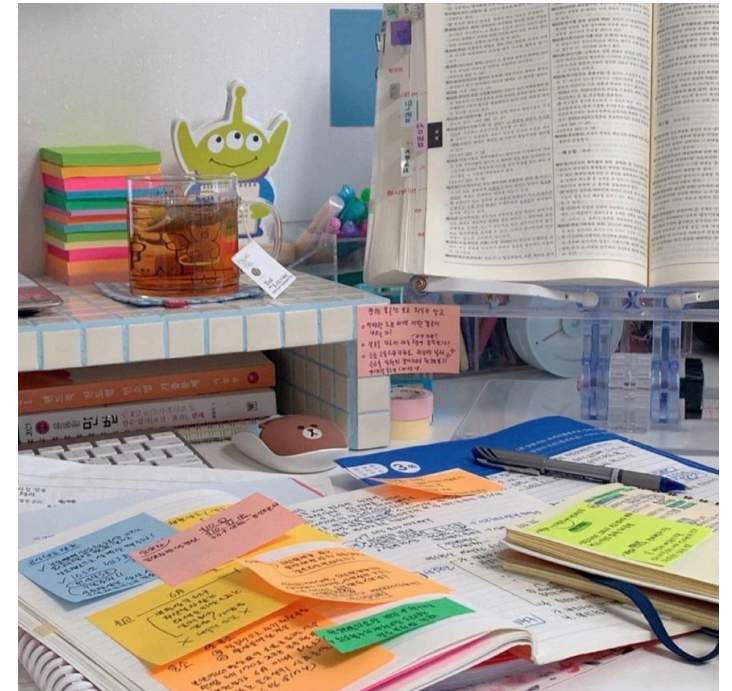
「どのような順番で理解したら、自分の腑に落としやすいか」
を指標にするといいですね！！

もちろん、後から貼り替えてもOKです。

後のページで、
「イメージでノート覚えよう！」というポイントについてもお話しますが、

一つ一つのルールを文字でのみ記憶しようとするのではなく、
見開きのノートをイメージとして暗記しておくというのも、
たくさんの情報量をこなさないといけない語学の学習においては非常に有効です。

どこのページに何が書かれていたのかというのも、
覚えてしまうくらいの感じでページのイメージと内容まで思い出せる状態が
作ればとってもいいですね！



③暗記の時の使い方

単語帳など、もうすでに暗記ツールがある場合は、
転記している時間がもったいないのでそのまま活用した方がいいですが、

この方法が有効なのは、例えば、
ポイントやなかなか覚えられない文法や単語を付箋にメモしておきます。

まず、それらの暗記事項を適した大きさのふせんに転記します。
それをノートにどんどん並べて貼っていきます。

情報量が大量にある場合などは転記に時間がかかってしまうので、
コピーなどを使いましょう！

「これから覚えるゾーン」と「もう覚えたゾーン」にスペースを分けておいて、
覚えたものからどんどん移動して（貼り替えて）いくようにするのです。

**「これから覚えるゾーン」が空っぽになったら、暗記完了です。
別のノートやダイルに移し替えるやり方でもいいですね！！**

貼り替えることができる、ふせんならではの使い方です。

使い終わったふせんは思い切って捨てずに、
覚えたゾーンにそのまま貼って取っておいて、
また復習し、忘れたところにチェックしなおすこともできますね！



【作る時の注意とコツ】

ポイントは3つです。

① 1つ目は、あまりルールを厳しくしないこと。

厳密にルールを決めてしまうと、間違えた色を使った時にやる気がなくなってしまうたりもするので、完璧主義な方ほど大切なポイントかもしれません。

② 2つ目は、貼るものを付箋に限定しないこと。

付箋をメインにしたノートだからといって、付箋以外のものを貼ってはいけないなどとしてしまうと使い勝手が悪いです。

手で付箋に書き写すよりも、コピーした方が早い場合などは、コピーしたものを貼り付けておきましょう！！

貼れるものはなんでも貼り、挟めるものは挟んでおきます。



③色分けとサイズ

付箋を使ってカラーを入れるときは、それぞれの色に意味を持たせておくことも重要かなと思います。

例えば、わからなかった単語は青、文法で注意したい事柄には赤、暗記したい例文は緑といった具合に、これは自分なりの独自ルールで構いません。

またきっちり決めなくても大丈夫ですが、ある程度自分の中でルールを持たせながら勉強していくと、ノートを見開いた時にも一瞬でポイントを掴みやすくなったりもするのでお勧めです。

ルールを作ってしまうのが苦手な人は、無理して作る必要はありません。その時に使いたい色だったり、全体のバランスをみて調節してます。

大きさに関しても特に決まりは設けていませんが、文法などは比較的書くことが多くなるので、大きめの付箋でまとめておいた方があとから、情報を付け足すこともでき、便利ですね！

④ なかなか覚えられない単語などは付箋を使って印象に残そう！！

単語帳でなかなか覚えられない単語や、何度も忘れてしまうような単語などは、比較的大きめの付箋を使って、詳しい情報もいっしょにまとめています。

またこういった特に注意しておきたい単語や文法に関しては、自分で特定の色を決めておいて、重要な情報であることに気づきやすくしておいてもいいですね！

⑤ ノートをイメージでノートを覚えよう！

一つ一つのルールを文字でのみ記憶しようとするのではなく、見開きのノートをイメージとして暗記しておくというのも、たくさんの情報量をこなさないといけない語学の学習においては非常に有効です。

どこのページに何が書かれていたのかというのも、付箋を使うことでノートにインパクトが出やすくなり、思い出しやすくなりますね！★

付箋をオンライン化して活用してみよう！！



オンラインの付箋と紙の付箋を写真で同期し、どちらでも管理できるという機能もありますので、

こういったアプリも活用していくと勉強もより進めやすくなっていくと思います★

BLOGにておすすめアプリの情報なども少しずつ更新していく予定ですので、またみてみてください★